



2023年6月9日

各 位

会 社 名 オカダアイオン株式会社  
代表者名 代表取締役社長 岡田 祐司  
(コード：6294 東証プライム市場)  
問合せ先 常務取締役管理部門担当 前西 信男  
(TEL：06-6576-1281)

### 上場維持基準への適合に向けた計画に基づく進捗状況について

当社は、2021年11月12日に、新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書を提出し、その内容について開示しております。2023年3月末時点における計画の進捗状況等について、下記のとおり作成しましたので、お知らせいたします。

#### 記

#### 1. 当社の上場維持基準への適合状況の推移及び計画期間

当社の2023年3月末時点における東証プライム市場の上場維持基準への適合状況はその推移を含め、下表のとおりとなっており、「流通株式時価総額」基準については現時点で基準を充たしておりません。下表のとおり、「流通株式時価総額」基準に関しては2024年3月末までに上場維持基準を充たすために、引き続き各種取組を進めてまいります。

		流通株式数 (単位)	流通株式 時価総額 (百万円)	流通株式比率 (%)	売買代金 (百万円)
当社の適合状況 及びその推移	2021年6月末時点	60,807	7,594	72.5	28
	2023年3月末時点	56,922	9,307	67.9	49
上場維持基準		20,000	10,000	35.0	20
2023年3月末時点の適合状況		適合	不適合	適合	適合
計画期間		—	2024年3月末	—	—

※ 2021年6月末時点及び2023年3月末時点の適合状況は、東京証券取引所が基準日時点で把握している当社の株券等の分布状況等をもとに算出を行ったものであります。

## 2. 上場維持基準への適合に向けた取組の実施状況及び評価

当社は、2021年11月12日に公表しました「新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書」において、流通株式時価総額の基準達成に向けた基本方針として、当時の中期経営計画「ローリングプラン FY2021～FY2023」の最終年度となる2024年3月末を計画期間とし、流通株式時価総額の増大に向けた「4つの重点課題」を掲げて企業価値向上を図ってまいりました。

その結果、株価の上昇により2023年3月末時点では流通株式時価総額は増加したものの、引き続き基準未達となりました。一方で、足許の2023年4月～5月平均の流通株式時価総額は、基準を上回る水準（10,208百万円）で推移をしております（当社試算ベース）。

計画期間の2024年3月末に向けて、2023年5月11日に公表した修正3カ年計画「ローリングプラン FY2023～FY2025」の方針に基づいた企業価値向上施策を遂行し、流通株式時価総額の更なる増大を図ってまいります。

### 「4つの重点課題」の取組状況

#### (1) 当期純利益実額の増大

	21/3期(実績)	22/3期(実績)	23/3期(実績)	24/3期(計画)
親会社株主に帰属する 当期純利益	919百万円	1,190百万円	1,414百万円	1,500百万円

2023年3月期に「新市場区分の上場維持基準の達成に向けた計画書」の当期純利益計画を1年前倒して達成いたしました。

#### (2) 投下資本の生産性向上

	21/3期(実績)	22/3期(実績)	23/3期(実績)	24/3期(計画)
投下資本（期末）	174億円	187億円	232億円	245億円
ROIC(投下資本利益率)	5.30%	6.37%	6.09%	6.26%
WACC(加重平均資本コスト)	4.68%	4.36%	3.67%	3.60%
ROIC－WACC	0.61%	2.02%	2.42%	2.66%
ROE(自己資本利益率)	8.3%	10.0%	10.7%	10.4%

2021年3月期以降、成長投資により投下資本は増加していますが、投下資本生産性は改善トレンドとなっています。尚、上記数値（ROIC、WACC）は当社試算ベースで、トレンド把握を重視し数値は簡便試算しています。

#### (3) 累進的且つ機動的な株主還元の実施

	21/3期(実績)	22/3期(実績)	23/3期(実績)	24/3期(計画)
1株あたり配当金	29円	32円	38円	56円
配当性向	25.2%	21.5%	21.6%	30%

事業安定成長のもと、2023年3月期まで13年連続で増配を継続しています。また、2024年3月期には、18円増配、配当性向30%を計画しています。

#### (4) IRと情報開示の充実

##### ① 株主様、投資家様、アナリスト様との対話の充実

	21/3期(実績)	22/3期(実績)	23/3期(実績)	24/3期(計画)
決算説明会	3回	4回	4回	4回
投資家・アナリスト面談	37回	61回	58回	60回

IRチームの活動を活発化し対話機会の増加を図った結果、投資家・アナリスト面談実績は2021年3月期の実績対比、以後の2年間は約6割増加いたしました。

##### ② 英文情報開示の充実

以下の英文情報開示を行っています。

- ・招集通知（招集ご通知部分と株主総会参考書類）
- ・決算短信（要約）
- ・長期ビジョン VISION30
- ・中期経営計画ローリングプラン
- ・決算説明会資料
- ・重要な適時開示資料（23/3期の開示資料は以下）
  - 「米国連結子会社による事業譲受及び新会社設立に関するお知らせ」
  - 「配当方針の変更に関するお知らせ」

##### ③ ESG・サステナビリティへの取組強化

- ・サステナビリティ委員会の設置  
サステナビリティに関する課題に対して積極的且つ機動的に対応し、ESG経営を実効的に進めるために、代表取締役社長を委員長とするサステナビリティ委員会（年4回、及び必要時開催）を設置しました。
- ・ホームページにサステナビリティ・サイトを構築しました。  
<https://disclosure.okadaaiyon.com>
- ・マテリアリティ（重要課題）を決定し、ホームページに掲載しました。  
<https://disclosure.okadaaiyon.com/materiality/>
- ・TCFD提言への賛同表明を行うとともに、TCFD開示とサプライチェーンCO2排出量算定に関して、2023年6月末までにホームページに掲載する予定です。

#### (参考資料)

新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書（2021年11月12日）

<https://www.aiyon.co.jp/wp-content/uploads/2021/11/ff7bfdc1898d77b67a46d3d65989f68b.pdf>

中期経営計画「ローリングプラン FY2023~2025（2023年5月11日）

<https://www.aiyon.co.jp/wp-content/uploads/2023/05/82f342384fba8d10a1537751300e76c8-2.pdf>

以上